

東南アジアと南アジア

名前 _____

_____ 月 _____ 日

世界の姿 日本の姿 気候と暮らし **アジア州** ヨーロッパ州 アフリカ州 北アメリカ州 南アメリカ州 オセアニア州

今日の問い

東南アジアと南アジアでは、どんな産業が発展しているのだろう。

下線に当てはまる語句を書こう。同じ番号には同じ語句が入る。左の欄の説明もヒントにしよう。

1 東南アジアの農業と工業

東南アジア

2 植民地時代に開かれた、輸出向けの作物を大規模に育てる農園。

4 東南アジア諸国連合。東南アジアの国々が経済などで協力する組織。

東南アジアでは、季節風による雨を生かして稲作がさかんで、同じ田で年に2回米をつくる¹ _____も行われている。植民地時代に開かれた² _____では天然ゴムやバナナなどが栽培され、マレーシアやインドネシアでは³ _____の栽培が広がっている。タイやベトナムは、米の輸出量が世界有数である。

近年は、賃金が比較的安く、働く人も多いことから、外国の企業が工場を建てて電気機械や自動車などの工業が発展している。東南アジアの国々は、1967年に結成された⁴ _____（東南アジア諸国連合）を通じて、経済などで協力している。シンガポールのように、貿易や金融で大きく発展した国もある。

2 インドの産業と人々

南アジア

7 情報通信技術にかかわる産業。インドで大きく成長している。

6 インドで国民の多くが信仰している宗教。

南アジアの⁵ _____は、2020年代に中国をこえて、世界でいちばん人口の多い国になったとされる。国民の多くは⁶ _____を信仰している。英語を話せる技術者が多いことなどを生かして⁷ _____が成長し、南部の⁸ _____などに関連する企業が集まっている。

農業では、雨の多いガンジス川の下流域で稲作、雨の少ない地域で⁹ _____の栽培がさかんである。北東部のアッサム地方では¹⁰ _____、デカン高原では¹¹ _____がつくられている。



東南アジアと南アジア

インドのICT産業は、ベンガルールなどの南部の都市に集まっている。北東部のアッサム地方では茶、デカン高原では綿花の栽培がさかん。

できた / 11

